大城　毅 議員

町の子どもの貧困実態調査を

答　現在把握しているデータで救うことができると考えている

問 **沖縄県では全国平均の16・3％を大きく上回る29・3％の子どもが貧困状態にあると明らかになった。本町の子どもの貧困について実態を調査する計画があるか。**

副町長 小中学校の不登校及びその可能性のある児童生徒数、中卒及び高校中退数、若年出産数、一人親世帯の数を把握している。これら対応することで、課題を抱える子どもたちを救うことができると考えている。新たな調査は考えていない。

就学援助を受けやすく

問 **就学援助の受給基準を緩和してこれまで受給できなかった子どもたちにも受給ができるようにしてはどうか。**

副町長 生活保護世帯、町民税非課税世帯、生活保護基準所得額1.3倍未満の世帯が対象となる。受給基準は、県内他市町村と比較して広い。

保育園を断られる子がなくなるように

問 **新年度の保育園入園を断られた子どもは何人か。子ども・子育て支援計画を前倒しして保育園を増やすべきではないか。**

副町長 待機児童は、3月8日現在で259人である。子ども・子育て会議で待機児童解消に向けた計画変更を了解を得た。平成28年度に新設保育園増など変更計画に沿って対応する。

問 **計画を変更して設置される2園はいつから保育が始まるのか。**

民生部長 新たに追加する2園も、平成29年度から保育を始められるように取り組む。

喜屋武の通学路改善は

問 **県道86号線、喜屋武91番地付近で歩道が切れて大変危険である。改善はどうなっているか。**

副町長 県南部土木事務所で事業化されている。昨年12月に用地の不動産鑑定を終え、3月中には地積測量図の完成予定である。平成28年度早期に物件調査委託業務を発注すると確認している。

歩道設置を要望している場所（喜屋武）

こんな質問もしました

○南星中学校テニスコートの改善を
○バス停への屋根設置の取組は